

## 第 197 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 30 年 5 月 8 日(火) 開催 会場: 岩崎学園 (新横浜 1 号館 8 階)】

### 1. 株式会社エム・ティー・スリー 代表者 宮崎 年恭 氏 (<http://www.mt3.co.jp/>)

【住所】神奈川県横浜市港北区新横浜 3-7-18 第 2 上野ビル 6 階【設立】2017 年 10 月

【資本金】1,000 千円

【事業概要】創薬。抗がん放射線治療増感剤の実用化を行っている。GLP 準拠の非臨床による安全性試験から細胞毒性が全く認められなかった自然界産物由来の増感剤です。すでに大量合成が可能になっている。放射線の照射量を低減できる可能性も示唆されている。

大学動物病院において犬・猫の自然発症癌での効果が得られており、動物用医薬品としての薬事承認が早期かつ確実であることより、まずは動物用医薬品としての販売を目指している。現在、日本国内でペット用に放射線治療を行っている施設は 8 ヶ所程度であり、すでに 2 ヶ所と臨床試験を実施し、他の施設にもコンタクトを始めている。動物用医薬品の販売活動で得られた収益を人間用医薬品の治験・薬事申請の活動に投資することによって、多額の外部資金調達を必要としない創業事業化を進める。

【コメント】現在の癌の治療方法としては、①手術療法、②化学療法、③放射線療法の 3 種類があります。その中で放射線療法は癌組織に的を絞って放射線を照射する局所療法なので治療による痛みがなく、副作用を最小限に留めることが出来、身体に優しい治療です。しかし癌組織の中心部の酸素濃度を上げて照射しないと最大限に効果を発揮することが出来ないため、この抗癌放射線治療増感剤の必要性が求められているのです。



### 2. 株式会社アドメテック 代表者 中住 慎一 氏 (<http://www.admetech.co.jp/>)

【住所】愛媛県松山市空港通 1 丁目 8-16 【設立】2003 年 9 月【資本金】220,000 千円

【事業概要】愛媛大学発医工連携ベンチャーで、手術不能・放射線不能な悪性腫瘍を熱で叩きます。医療機器としては動物病院向けに薬事取得済みで、すでに国内で約 160 台が稼働中です。

現在はヒト深部臓器用の機器とデバイスを開発中で、昨秋ウクライナ国で先行して薬事認証され、同国立がんセンターにて臨床応用が始まりました。CT 画像やエコー画像で腫瘍の位置を確認しながら、開腹せず低侵襲で弊社の微細発熱針や微細発熱カテーテルを患部へ挿入し、温度を制御しながらピンポイントかつ安全に、患部を不可逆的に熱変性させます。物理的な方法のため、固形癌であれば癌種を問わず、また癌細胞の遺伝子変異にも動きません。

今後は医療機器としてまず海外からビジネス展開を図り、また国内の複数大学病院と実施中の共同研究により、これまで治療が困難だった局所の腫瘍を快復させ、癌患者さんの延命や救命、QOL の向上につなげたいと考えております。

【コメント】現在の癌の治療方法に加える、または併用することが出来る『熱』による新しい治療方法になります。また近年、注目されている免疫細胞療法や抗体医薬とも併用することが出来ます。この『熱』による治療方法は薬剤を使用しないので副作用が少なく、放射線による被曝がありません。現在、販売中のペット医療機器は皮下疾患に対して 50~60℃を約 10 分間加熱し、施術 1 回で治療を終了することが出来ます。また同社は TOKYO PRO Market 市場に上場しており、将来的にステップアップ上場もしていきたいとおっしゃられておりました。



### 3. 株式会社ホタテパウダー 代表者 立花 泰 氏 (<http://www.hotatepowder.co.jp/>)

【住所】東京都千代田区内神田 1-15-2 神田オーシャンビル 2 階【設立】2013 年 12 月

【資本金】28,500 千円

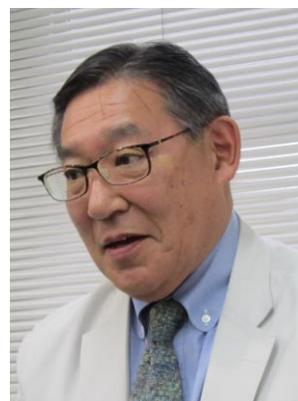
【事業概要】産廃品である青森県産のホタテ貝の殻を粉砕し、1100℃で焼成。加水し、水酸化カルシウムに仕上げ、殺菌・消臭能力を活用。抗菌・除菌・消臭剤の開発、及び、まな板を始めとする生活関連用品の開発及び販売を実施。天然抗菌素材で食品添加物でもある安全性の高い部材によるホタテ貝焼成カルシウム抗菌剤は病院内、介護施設、給食センター、外食産業などの除菌から食中毒関連菌の処理に強く、芽胞菌にも対応可能。アルコール除菌剤と違い、手指を痛めないという特徴を持つ。創業より約 3 年間を研究開発に充てる。第三者機関での各種エビデンス(日本語・英語・写真付)を所持、関係会社の持つ PE と水酸化カルシウム関連特許使用許諾契約も強み。

●まな板は国内最高レベルの抗菌・耐熱性能(耐熱 110℃抗菌活性値 4.7~6.0 等)を有し、大手外食企業にも指定されている。本年夏、まな板の世界戦略新製品発売と同時に新たに自社にて特許申請予定。

●当社が手掛け、約 3 年かけて(東証 1 部企業 2 社が途中参加)共同開発した抗菌不織布は、2018 年 10 月頃マスコミ発表、年内発売というスケジュールとなっております。

●カット野菜大手と、工場内商品出荷前殺菌・除菌に付き、脱次亜塩素酸除菌システムを開発中

【コメント】世の中に『抗菌』と謳われている商品は多数存在しますが消費者にとってその効果は目に見えないだけに本音のところはよく分からないのが実情だと思います。それに毎日使用するものだけに皮膚が荒れないということは非常に重要なことです。今回、立花社長がリトマス試験紙を用いて、商品の効果を目に見えるようにして下さいましたので、はっきりとした効果を実感することが出来ました。



#### 《感想》

今回の発表企業には皆様の関心が高く、たくさんの方々にご出席を賜り、盛んな意見交換が行われました。

この発表をきっかけとして、発表企業様の更なるビジネスチャンスに繋がりますことを祈念いたしております。

もし今後、発表会での発表をご希望される企業がいらっしゃいましたら、お早目にご連絡をお願い申し上げます。

#### ☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

#### 第 198 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日時: 平成 30 年 6 月 12 日(火) 13:30~16:00

■会場: 学校法人岩崎学園 新横浜 1 号館 8 階

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA

(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード

井汲 美樹